

《成果①》
新規性・新たな知見

令和5年度 総合事業
経済安全保障の観点から我が国の強みや脆弱性を
踏まえた、望ましい国際経済環境のあり方

経済安全保障研究会

G7広島サミットでの経済安全保障に関する成果及び今後の課題に関して、「経済的威圧」への対処について議論を深めた。

非市場的政策・慣行を通じた戦略的依存関係、それに対してのより強力な国際ルール及び規範及びWTOを通じた対処、またG7の「経済的威圧に関する調整プラットフォーム」などの国際連携を通じた対処等の事象を取り上げた。

経済的威圧の効果、反威圧対抗措置の有効性、国際協調の可能性、貿易ルールと経済的威圧の関係性について検討し、知見を深めることができた。対抗措置としては、代替販路提供など相互救済が有効であるとの結論を得た。



研究レポート

国際法から見た経済安全保障の諸相

2023-12-12
中谷和弘（東京大学教授）



「国家間競争時代の経済安全保障と日本外交」研究会 FY2023-1号
「研究レポート」は、日本国際問題研究所に設置された研究会参加者により執筆され、研究会での発表内容や時事問題等についてタイムリーに発信するものです。「研究レポート」は、執筆者の見解を表明したものです。



研究レポート

海外直接投資と安全保障：米国における規制の展開に基づく考察

2023-12-13
杉之原真子（フェリス学院大学教授）



「国家間競争時代の経済安全保障と日本外交」研究会 FY2023-2号
「研究レポート」は、日本国際問題研究所に設置された研究会参加者により執筆され、研究会での発表内容や時事問題等についてタイムリーに発信するものです。「研究レポート」は、執筆者の見解を表明したものです。

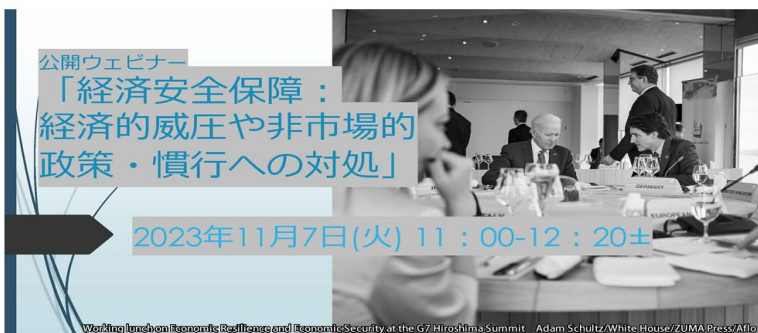
「研究会」
政策との関連性を確保すべく、政策担当者からのインプットの機会。

「研究レポート」
経済安全保障の様々なテーマを掘り下げて分析。

成果を集約し、展望と日本外交への提言を含む『戦略年次報告』を発表

《成果②》 機動的な内外への発信

令和5年度 総合事業 経済安全保障の観点から我が国の強みや脆弱性を 踏まえた、望ましい国際経済環境のあり方



イベント実施報告

公開ウェビナー「経済安全保障：経済的威圧や非市場的政策・慣行への対処」

2023-11-07



国問研戦略コメント

国問研戦略コメント(2023-04)
イギリスのCPTPP加入の意義

2023-04-13
柳田健一(日本国際問題研究所研究員)

「国問研戦略コメント」は、日本国際問題研究所の研究員等
が分析をわかりやすくタイムリーに発信することを目的とし



《成果③》
シンクタンク・有識者
との連携（発信を含む）

令和5年度 総合事業
経済安全保障の観点から我が国の強みや脆弱性を
踏まえた、望ましい国際経済環境のあり方



「海外シンクタンクとの協議①」
ヘリテージ財団、オーストラリア戦略政策研
究所 (ASPI)、ビベカナンダ国際財団 (VIF) と
「クアッド・プラス協議」を共催。

米戦略国際問題研究所 (CSIS) と「第30回日
米安保セミナー」を共催 (1月)、公開ウェビ
ナーで上川外務大臣の基調講演。



「海外シンクタンクとの協議②」
デリー・ポリシー・グループ (DPG) との共催
で「第6回日印インド太平洋フォーラム」を開
催、公開ウェビナーで上川陽子外務大臣と
ジャイシャンカル外務大臣の基調講演。
台湾国策研究院文教基金会と「第10回日台戦略
対話」、台湾政治大学国際関係研究センター
(IIR) との「第9回JIIA-IIR協議」を共催。

駐日大使館等からの各種照会・情報提供依
頼への対応を通じた貢献等。



公開ウェビナー「経済安全保障：中国の技術・
安全保障の優位性を巡る戦略」

タイ・ミン・チェン (Tai Ming Cheung)
カルフォルニア大学教授による講演

「第5回東京グローバル・
ダイアログ (TGD5)」

「動乱の世界：安定した国際安全保障と協力をどう
築くか？」
パート1：米中競争とインド太平洋：
経済安全保障
海外・国内の有識者・著名人・専門家など多数登壇

海外主要シンクタンク・有識者との活発な意見交換・ウェビナー開催により
グローバルな知的ネットワークの構築と対外発信